

令和元年度東部地区学力向上推進協議会 (研修会)



令和元年6月5日(水) 春日部地方庁舎

令和元年6月5日(水)に、春日部地方庁舎大会議室において、第1回東部地区学力向上推進協議会(研修会)を開催しました。学力向上に係る研究委嘱校の校長及び研究推進者、各市町教育委員会学力向上推進担当者、東部教育事務所担当者等が参加しました。

研究市町教育委員会、研究校が研究計画について発表した後、5つのグループに分かれて協議を行いました。また、県教育局市町村支援部義務教育指導課主任指導主事より、指導助言及び県からの情報提供を行いました。

1 目的

児童生徒の学力向上に資するため、各研究校及び関係各市町教育委員会の研究内容等について検討・情報交換を行うとともに、研究成果の普及を図る。

2 主な協議内容

次の視点で協議を行いました。

- ①各市町教育委員会からの情報提供・意見交換
- ②研究校の研究推進に対する支援(研究に関連した効果的な取組事例等)
- ③研究校の質問事項に対する情報提供・意見交換

『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業』

- 春日部市教育委員会 ●春日部市立内牧小学校
- 杉戸町教育委員会 ●杉戸町立杉戸小学校

◆春日部市立内牧小学校グループ

- 加配教員の効果的な在り方について
継続的に取り組んでいけるような手立てを
考えていく必要がある。
- 対象学年の児童をどう伸ばしていくか。
学級経営、自己肯定感などにも着目しながら、
子供たちの伸びを見取っていく。
- 授業外での支援について
昼休み、放課後等の時間を活用して、子供たちの学力を伸ばしていく。



◆杉戸町立杉戸小学校グループ

- 研究授業のもち方について
子供たちがどう学んでいるかを見取っていく。
- 授業外での補充学習について
ゴールを定めて実施し、褒めてあげることにより、
子供たちの学ぶ意欲を高めている。
- 個人カルテの作成
何を学び、これからどう学んでいけばよいかなどの
記録を残し、教員間で共有することで効果的な指導を行っていく。



「『チーム埼玉』学力向上パワーアップ事業」

- 羽生市教育委員会 ● 羽生市立羽生北小学校
- 松伏町教育委員会 ● 松伏町立松伏小学校

◆ 羽生市立羽生北小学校グループ

- 「読む」力について
国語の読む力だけではなく、各教科における
「読み取る」力が重要である。
- 「書く」力について
段階を踏んで、目的意識をもたせていく。
アウトプット（表現）する機会を増やすことで、
書く力を徐々に高めていくことができる。
- まとめと振り返りについて



◆ 松伏町立松伏小学校グループ

- 町の学力向上推進協議会の充実について
小中合同研修会、授業スタンダード
- 個人カルテ（コバトンのびのびシート）の活用
- 朝学習で効果的に取り組むためには、どのように
活動すればよいか。
- 子供たちの自己肯定感を高めていく手立てについて
- 家庭と連携しながら学力向上を図っていく。



「学力向上研究校指定事業」

●吉川市教育委員会 ●吉川市立東中学校

◆吉川市立東中学校グループ

- 学生ボランティア等の活用を考えている。
- 特に若手の教員の授業力を高めていくことが重要である。
- 学び合いの授業形式について
（例）リトルティーチャーの活用
- 学び合いを深めていくためには、人間関係を構築し学級経営を充実させることも大切である。



指導講評及び県からの情報提供

「埼玉県学力・学習状況調査を活用した学力向上2019」

【講師】

県教育局市町村支援部 義務教育指導課
学力向上推進・学力調査担当 藤井 真仁 主任指導主事

【内容】

- 1 埼玉県学力・学習状況調査の特徴
- 2 データ分析から分かってきたこと
- 3 活用例

